



4 K ・ 8 K 試験放送開始に向けた 設備整備の取り組み

NHK は、総務省が公表した「4 K ・ 8 K 推進のためのロードマップ」を踏まえ、8 月 1 日から、衛星放送によるスーパーハイビジョンの試験放送を開始します。試験放送開始に向けた NHK の設備整備の進捗について紹介いたします。

◎ 番組制作設備

スーパーハイビジョンの番組を制作するためのカメラや、中継車などの設備が完成。自然科学、美術、歴史、音楽、スポーツ、ドラマなど、さまざまなコンテンツの制作、蓄積を進めています。



8K 単板式カメラ



22.2ch 3 次元立体音響制作室



8K 中継車 (SHC-1)



マスターコントロールルーム

◎ マスター（番組送出）設備

番組を切り替えて送出する、マスター設備も完成。最終確認テストを行っています。

◎ 受信装置

試験放送を全国の NHK の放送局でご覧いただけるよう、受信装置の整備を進めています。リオデジャネイロオリンピックでは、世界のトップアスリートたちの活躍を、迫力あふれる 8 K 中継でお届けします。オリンピック中継を含む、試験放送のスケジュールは決まり次第お知らせいたします。



85 インチ 8K モニター